



誇りを高め、未来とともに

帯広市開拓140年 市制施行90年記念



川西エリアから帯広中心部を望む

帯広市広報マスコットキャラクター
「しらかんぱ」



©帯広市2021



帯広市長
米沢 則寿

帯広市開拓140年・市制施行90年にあたって ～誇りを高め、未来とともに～

本年、帯広市は開拓140年・市制施行90年の記念の年を迎えています。

顧みますと、帯広の本格的な開拓は、明治16年、依田勉三率いる晩成社一行の入植から始まり、先住民族であるアイヌの人たちから教わった厳しい自然環境の中で生き抜く知恵を活かしながら、不撓不屈の精神で豊かな大地を築き上げていきました。

そして、開拓から半世紀後の昭和8年には道内7番目の市となり、以降、川西・大正両村との合併、都市機能の整備等を経て、今日、私たちの郷土・帯広は、日本を代表する食料基地・十勝の中核都市として発展を続けています。

今日の帯広市の繁栄は、ひとえに先人の方々や市民の皆様のたゆまぬ努力と情熱の賜物であり、来たる11月1日には、これまでの歴史を振り返り、先人への感謝と敬意を表するとともに、未来に向けて帯広市の更なる飛躍を期すべく、国内の姉妹都市や多くのご来賓の方々をお招きし、記念式典を開催します。

近年、社会情勢は加速的に変化し、不確実性が高く、先を見通しにくい時代を迎えています。このような時代だからこそ、先人から脈々と受け継がれてきた「開拓者精神」と人々の結びつきを大切に、自らの手で未来を切り拓いていくことが、今後の地域の発展に向けて重要であると考えています。

この十勝・帯広で培われてきた歴史と文化に誇りと愛着を持ちながら、市民の皆様とともに輝かしい未来をつくるため、歩みを進めてまいりたいと思います。



記念式典 令和4年11月1日 午前10時から

※本式典は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一般参加者は募集せず、招待者のみで行います。(一般の方は、OCTVの生中継または、YouTubeの式典LIVE配信をご覧ください。)



帯広市民憲章

澄んだ青空と、きれいな水に恵まれている広大な十勝平野。先人は多くの苦難を乗り越えて、その中心に平原のまち、帯広を拓(ひら)きました。わたしたちは、豊かな自然と、この地によって培(つちか)われたおらかな気風に誇りをもち、住みよいまちをめざし、よりよい市民として前進するために、この憲章を定めます。(昭和57年6月17日制定)

1. 明るく働き、豊かなまちにしましょう。
1. きまりを守り、なごやかなまちにしましょう。
1. あたたかい心もち、うるおいのあるまちにしましょう。
1. 自然を大切に、やすらぎのあるまちにしましょう。
1. 北国の文化を高め、楽しいまちにしましょう。

帯広市 記念式典
LIVE配信
[公式] YouTube



帯広市開拓140年
市制施行90年記念
[公式] ホームページ



※YouTubeの式典LIVE配信をご視聴するにあたって…大量のデータ(パケット)通信を行うため、携帯・通信キャリア各社にて高額な通信料金がかかる可能性があります。よって、スマートフォンやタブレットなどで視聴の場合は、Wi-Fi環境でのご利用を推奨します。